

図書館だより

宮城県仙台三桜高等学校
司書版 No.7
2021.12.14



↑蔵書検索QRコード



もうすぐ冬休みです。図書館は冬休みも通常営業です。
コロナ対策のため常時換気をしています。足下の冷えが気になる方は膝掛けなどをお持ちください。

《冬季特別貸出》

12月16日（木）からスタート

一人 5冊まで 返却日:1月7日(金)

※開講式は1月6日(木)です。ご注意ください。

読みたかったあの本この本、この機会に大いに利用してください。

レポート作成などじっくり取り組む課題のある人にとっても、本を長期間借りていられるのは良いですよ。

3年生の最終貸出は1月28日(金)、最終返却日は2月4日(金)です。その後の貸出については個別に対応します。

【冬季休業中の休館について】

12月29日(水)～1月3日(月)はお休みします。

司書が留守の時に本を借りる人は、カウンター上の所定の用紙に記入してくださいね。



読書感想画コンクールのお知らせ (自由参加型コンクール)

読書した感動を絵にしてみませんか？

出品部門：自由読書の部、課題読書の部（課題図書は購入済み）

締め切り：**令和4年1月7日(金)**【学校で取りまとめて出品】

サイズ：36×25cm以上55×40cm以下

用紙：画用紙、ケント紙、キャンバスボード、マニラ紙、ボール紙

（枠張りキャンバスや木製パネルなど厚みのある作品は不可）

画材：クレヨン、パステル、水彩・油彩絵具など自由。版画、はり絵も可。

詳しくは司書まで。応募要項と応募用紙があります。

※webでも公開されています。「第33回読書感想画中央コンクール」で検索。



読書感想画コンクール課題図書

世界とキレレ

佐藤まどか(著)

あすなる書房

14歳の舞は、夏休みに林間学校に参加する。到着してビックリ。スマホ取り上げられてしまった。「こんな事ってあり得ない！！」

世界と
キレレ

NO IMAGE

佐藤まどか
(著)
あすなる書房

零から
0へ

NO IMAGE

まはら三桃
(著)
ポプラ社

零から0へ

まはら三桃(著)ポプラ社

新幹線を作ったのは、かつて零戦を作っていた技術者たちだった。技術者たちの戦後を描く。

きみのいた森で

NO IMAGE

P・ハウトマン
(著)
評論社

きみのいた森で

P・ハウトマン(著)評論社

祖父を亡くして落ち込んでいたステューイは、エリーと出会い、元気を取り戻す。しかし、ある日森の中で一緒に遊んでいると、彼女の姿がぼやけて消えてしまった。彼女は何者だったのか？

武器ではなく命の水を送りたい

NO IMAGE

宮田律(著)
平凡社

武器ではなく命の水を送りたい 中村哲 医師の生き方

宮田律(著)平凡社

紹介は裏面で→

大切な人は今もそこにいる

NO IMAGE

千葉望(著)
理論社

大切な人は今もそこにいる:ひびきあう賢治と東日本大震災

千葉望(著)理論社

災害で大事な人を失った著者が、宮沢賢治作品と災害死を考える。

新しくいった本



← 『**闇祓 (やみはら)**』
辻村深月 (著) KADOKAWA
悪意が周囲の周囲の人を巻き込み、思考力を奪っていく。辻村深月の初のホラー小説。



← 『**ペッパーズ・ゴースト**』
伊坂幸太郎 (著) 朝日新聞出版
人の未来の「先行上映」を見ることができない冴えない中学教師が事件に巻き込まれていく。



← 『**完売画家**』 中島健太 (著)
CCCメディアハウス
描いた作品は完売。「絵描きは食えない」を変えたい。自身の経験と、冷静な分析力が興味深い。従来の「絵描き」のイメージを変えていく中島健太の挑戦。いろんなメディアにも多数出演しています。



← 『**7.5グラムの奇跡**』 砥上裕将 (著) 講談社
眼科病院で働く新人視覚訓練士の成長を描く。登場する医師、同僚、患者さんたちの関係が温かく、優しい気持ちになれる小説です。『線は、僕を描く』でデビューした砥上裕将の待望の2作目。



← 『**ミカエルの鼓動**』
柚月裕子 (著) 文藝春秋
大学病院に導入された手術支援ロボット「ミカエル」。「ミカエル」を巡って対立する心臓外科医たち。医療現場の「正しさ」を問う小説です。

クリスマス展示
クリスマスの起源、お菓子や、クリスマスの小説を展示しています。
瀬戸内寂聴ミニ展示
2021.11.09作家で僧侶の瀬戸内寂聴（瀬戸内晴美）がなくなりました。99歳でした。出家前は恋多き女性として、波乱に富んだ人生でしたが、51歳の時に出家しました。作家として数多くの作品を残し、僧侶としての活動「青空説法」も行っていました。僧侶としての作品も残しています。

世界を変える

<読書感想画コンクール課題図書>

『武器ではなく命の水をおくりたい』

中村哲医師の生き方 宮田律 (著) 平凡社

中村医師が亡くなって二年が経ちました。荒れ地に水路を作り、人々が農業で生活できるようにした彼の功績は、今も賞賛されています。

現在アフガニスタンでは、タリバンが実権を掌握し、市民は生命の危機を感じながら暮らしています。これからアフガニスタンはどうなるのでしょうか？

(2019.12.04にアフガニスタンで凶弾に倒れる)



『未来をつくるあなたへ』

中満泉 (著) 岩波書店

「世界を変えるなんてできない」と思っていますか？

コロナやジェンダー、難民問題など難しい課題はたくさんあります。まずは課題を認識するところからはじめ、解決方法を考えてみましょう。

国連事務次長として、さまざまな世界的課題に取り組んでいる中満泉さんから、みなさんへのメッセージです。

